

## 郵趣振興協会 活動報告 (34)

第9期(2025年度)第2Q

2025年6月17日～2025年9月14日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 邮趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

ザ・ミーティング（会員と理事の懇談会）の開催を決定。

当協会は、課題の解決や、隠れた課題の早期発見に大いに役立つという考え方の下、郵趣振興を効果的に実施するために、これまでに透明性の高い郵趣団体の運営を行ってまいりました。

この取組の結果、郵趣振興に関する様々なアウトプットを出すことができてまいりましたが、その一方で、メディアやオンラインを通じたコミュニケーションだけでは拾いきれない、会員の皆様の声をお聴きする機会を持てないか以前より検討しておりました。

そこで、当協会の会員も多数参加すると予想される JAPEX2025 会期中に、会員と理事の懇談会（通称「ザ・ミーティング」）を開催することにいたしました。

是非、ご参加いただき、当協会の活動へのご意見を承りたく存じます。

日時：2025年11月1日（土）17時00分～18時00分

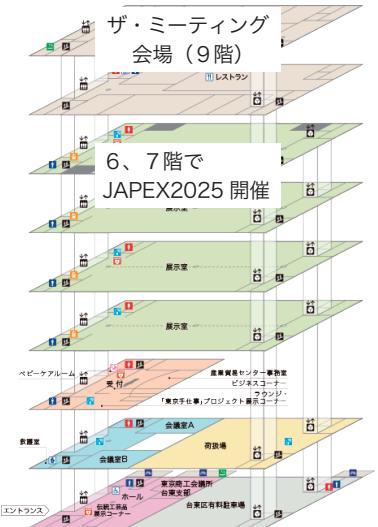
会場：台東区民会館 9 階 特別会議室（和室）

参加：当協会、正会員・賛助会員

JAPEX2025 の開催される都立産業貿易センター台東館の9階で開催いたします。

JAPEX2025二日目夜は、懇親会を予定されている方も多いかと存じます。是非、懇親会の始まるまでの間、お寛ぎも兼ねてお立ち寄りいただければ幸いです。

お茶菓子と飲み物をご提供いたしますので、是非お立ち寄りください。なお、参加にあたり予約は不要ですし、途中退室も可です。



## 全国切手展「スタンペックス ジャパン 2026」準備を開始。

当協会の第9期（2025/4/1-2026/3/31）予算が決定されたことを受けて、スタンペックスジャパンの実行委員会の活動が開始されました。

同予算中、スタンペックスジャパン 2026 の予算の総額は、1,785,000 円です（前回事業規模は 1,734,810 円）。この内、当協会から実行委員会への拠出は 485,000 円を予定しております（前回の拠出金額は 527,210 円）。

実行委員会では 6 月以降、会期の決定並びに会場の貸与について共催企業及び後援企業と交渉を始めるとともに、8 月に口ゴを決定、合わせて 9 月より金銭のやり取りを伴わない法人・団体様に対する協力名義の依頼を開始予定です。

なお、予算を達成するためには、本年より寄付金収入を増額する必要があり、「スタンペックスジャパン 2026」と「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2026」の支援スポンサーに対しては、寄付金の増額を交渉してまいりましたが、両企業からはほぼご内諾いただいております。

実行委員会における宣伝業務は、9 月 1 日に公式ホームページを新 URL である、stampex.jp で開始することにより本格的に開始されましたが、それに前後して、出品案内パンフレット（B5 判 12 頁）を 2000 部作成し、日本国内の発行部数の多い郵趣雑誌発行者に対して同梱の依頼を行いました。

審査員会は、佐藤浩一氏に審査員長を依頼すると共に、海外からの派遣審査員一名を決定済みです。今後、国内の審査員の選定に着手いたします。

## 会員の異動に関する紹介（2025/6/12-9/14）

当該期間に、1 名の新会員をお迎えすることができましたので、紹介させていただきます。頂戴した会費・寄付金につきましては、総会の決議に従い、大切に使わせていただきます。

新入会（正会員）：山田 廉一 様

## 寄付に関する報告

本ニュースレター発行期間内に、当協会に頂戴した寄付は、現金 6,000 円（3 件）です。なお当協会の活動において、会費も寄付的な性格が強いですが、会計上は寄附金とは別項目で計上しています。会費・寄附金のいずれも、郵趣振興に関する公益団体である当協会の活動にご共感いただき頂戴した事業資金になりますので、当協会だけでなく広く郵趣振興の役に立つよう、総会の決議に従い、大切に使わせていただきます。

なお、これとは別に日本切手未使用を額面約 10 万円分ご寄付いただきました。こちらにつきましては、通信費の支出の多い「スタンペックスジャパン」を中心にお使いいただき、現金支出を減らすことに活用したいと考えております。

スタンペックスジャパン運営寄附（1 口二千円）にご協力くださった皆様 3 件 6,000 円

伊藤 文久 様、加藤 茂樹 様、越農 雄二 様

それ以外のご寄附 通信用日本切手、概算 10 万円分（手嶋 康之 様）



## 各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビション事業

第7回全国切手展 スタンペックスジャパン2026の開催準備

実行委員会・審査員会がそれぞれ活動を開始

9/1 スタンペックスジャパン2026公式HP立ち上げ (<http://stampex.jp>)

郵博 特別切手コレクション展（2025年度）の開催。

7/10-7/21 東京ワンフレームチャンピオンシップ2024（博物館展示＋クラウド展示）

郵博 特別切手コレクション展（2026年度）の開催スケジュールの調整。

### リサーチ及び研究推進事業

当該期間に、本事業の活動は特段ありませんでした。

### フィラテリックPR事業

情報発信を実施（ブログ：6-8月で9件。対前四半期+13%。他にX(旧Twitter)を実施）

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催(6月-8月)

日本切手研究会 4回

外国切手研究会 4回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 4回

(2) 取材対応

朝日新聞社東京本社デジタル企画報道部 依頼の全日本切手まつり2025に対するインタビューへの対応（9/4付け「ガム包み紙購入コレクター語る沼」記事として掲載、Yahoo!ニュースにおいて240件を超えるコメントを得る）（担当：水谷行秀 理事）

### 総務ほか

後援する催事主催者からの、開会式出席依頼への対応

日時 : 7/19

依頼団体：全日本切手まつり実行委員会

内容 : 行徳国宏 名誉会長が、開会セレモニーに出席しテープカットを行う。

理事会の開催 9/11

5/19の総会決議を受けた、法務局への法人登記のやりとり・都庁とのやりとり（継続）

日常的な営業・問い合わせへの対応

日常的な経理業務

（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）